

地域 福智町消防団統一訓練
地域の安全安心は地域で守る

福智町消防団統一訓練が9月26日に行われ、15分団280人と15台の車両が集まりました。彦山川と中元寺川の合流点で行われた今回の訓練は、火災現場の近くに消火栓がない場合などを想定した訓練で、5分団ずつ3班に分かれて実施。無線を使い、連携をとりながら各分団5本ずつのホースをつなぎ、500メートルを放水まで迅速にできるように訓練しました。



↑目標を見定めて水圧に負けないように踏ん張る。本番さながらの真剣な訓練。

↓公演内容は「ねずみの嫁入り」。精妙な動きで臨場感あふれる舞台となりました。



愛 親子で楽しむタベ
くるしい人形に心を奪われて

九州各地で年間800回の公演をこなす「劇団ばれっと」が、10月1日に福智町同和対策研修センターにやってきました。年々参加者が増えている人気イベントの「親子で楽しむタベ」。今年参加した親子は約500人で、臨時席にも収まらず立ち見が出るなど、過去最大の集客となりました。会場は集まった子どもたちの笑い声がこだまし、終始にぎわいを見せました。

↓園児たちの催しに出席者からは惜しみない拍手。若い世代からパワーをもらいました（赤池会場）。



平成22年度福智町敬老会
長年の社会貢献をねぎらう

長年、地域発展に携わってきたお年寄りに感謝の意を込めて、来賓者からの祝辞や園児たちによる歌やダンスなど、多くの催しが披露された福智町敬老会。今年は9月26日の方城体育館を皮切りに、10月3日に金田体育館、10月17日に赤池中央公民館の3会場で開催されました。出席者は70歳以上の人が対象で、全体で約千人が参加。毎年、友人や同級生と会えるこの機会を待ち望んでいた出席者は、これまでの健康を確かめ合い、これからのさらなる長寿と地域発展を願いました。

山本翔也さん千葉国体出場
レスリングで堂々の全国5位を獲得

「高校最後の試合なので、悔いのないように気合いが入りました」。10月3日に開催された千葉国体レスリング競技の84kg級に福岡代表として山本翔也さん（金田・東鷹高3）が出演。全国の晴れ舞台で実力を発揮してきました。



1回戦はシード。緊張することなく2回戦に挑み、福島代表に見事勝利を収めました。続く準々決勝では京都代表に惜しくも負けてしまいましたが、これから続くレスリング人生に新たな1ページを飾りました。

←相撲と柔道経験がある山本さん。強さは、努力の積み重ねと皆さんの応援のおかげです。

↓福智町同士の決勝、優勝：わかば子ども会（赤池） 準優勝：中古門子ども会（伊方）



歓 下田川子ども会親善スポーツ大会
声を背にニュースポーツで交流

福智・糸田両町の子ども会育成連絡協議会の親交を目的とした「下田川子ども会親善スポーツ大会」が、9月23日に糸田町民体育館で開かれました。種目のシャフルボードは、エリアに向けて円盤を押し出し、得点を争うニュースポーツ。参加した16チーム70人の子どもたちは、各地域の声援を受けながら、的をめがけて心を一つに競技を楽しみました。

古 児童センター勾玉づくり
代の暮らしに思いを馳せて

県指定文化財「伊方古墳」の一般公開にあわせて、10月17日に、親子勾玉づくりが児童センター主催で行われました。参加した15組40人の親子は、3cm四方の石をヤスリなどで細かく削り、ハートやアルファベットなどユニークな勾玉を成形。その後、完成した勾玉のペンダントを首に下げて古墳内部を見学し、古代の人々の暮らしに思いを馳せました。



↑伊方古墳の神秘的な雰囲気と歴史を感じながら、古代の装身具「勾玉」を成形。

↓玄海の海に掛け声が響いた海底調査、呼吸と力を合わせて網を引き上げました。



玄 福智町ジュニアリーダー育成研修
海の海で自然環境を体験から学ぶ

自然環境の大切さを学び、子ども会活動の中核を担う人材育成を目的とした「ジュニアリーダー育成研修」が9月25日から2日間、玄海の家（宗像市）で開かれました。全国モーターボート競走施行者協議会の拠出金により実施され、町内の小学5～6年生30人が参加。海底調査で近海の生態系について学ぶなど、直接体験から環境保護への知識を深めました。